

授業科目名	特別活動論
科目番号	CB23271
単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	春AB秋AB月6
担当教員	京免 徹雄
授業概要	<p>特別活動(学級・ホームルーム活動、児童会・生徒会活動、学校行事、クラブ活動)は、様々な集団活動に自主的・実践的に取り組み、互いのよさや可能性を發揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」のための資質・能力を培う取組です。近年は、社会情動(非認知)的スキルの育成に有効だとして海外からも注目されていますが、その特質はどこにあるのでしょうか。本授業では、特別活動の歴史、思想、理論について「集団」や「自治」といった視点から考察した上で、それらがどのように実践に反映されているか、検討していきます。</p> <p>授業は、講義・資料読解・映像視聴などの内的活動と、発表・ディスカッションなどの外的活動をペアにして進めていきます。前半は、学級・ホームルーム活動に着目して、合意形成および意思決定の機能について理解を深めます。後半は児童会・生徒会活動および学校行事に焦点を当て、子どもによる自治(的)活動の可能性について追及します。また、特別活動がキャリア教育やシティズンシップ教育にどのように貢献しうるかについても検討します。</p>
備考	対面
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	<p>教育学の基礎的・体系的知識</p> <p>教育学における総合的思考力</p>
授業の到達目標(学修成果)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 特別活動の過去と現在とのつながりを説明できる。 2. 話し合い活動における合意形成と意志決定の意義を把握している。 3. 子どもの自治の可能性と限界について、自分なりの見解を表明できる。 4. 特別活動における理念・理論と実践の関係を理解している。
授業計画	<p>特別活動の特質である合意形成、意思決定、子どもの自治、に関する理解を深め、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」を実現するための教育的メカニズムを探求します。</p> <p>第1回 オリエンテーションー未来社会と特別活動ー</p> <p>第2回 「学級」の成立と発展</p> <p>第3回 学級・ホームルーム活動の歴史</p> <p>第4回 合意形成の理論と話し合い活動</p> <p>第5回 学級活動における合意形成の方法と過程</p> <p>第6回 学級活動における合意形成の実践</p> <p>第7回 学級活動における意思決定の方法と過程</p> <p>第8回 学級活動における意思決定の実践</p> <p>第9回 特別活動を通じた学級経営</p> <p>第10回 小括ー未来の市民を育てる学級活動ー</p> <p>第11回 学校行事の成立と展開</p> <p>第12回 学校行事の教育的意義と課題</p> <p>第13回 学校行事における教師の役割</p> <p>第14回 with /postコロナにおける特別活動の展開</p> <p>第15回 児童会・生徒会活動の歴史</p> <p>第16回 市民性育成に資する児童会・生徒会活動</p>

授業計画	<p>第17回 民主主義の実践としての児童会・生徒会活動</p> <p>第18回 特別活動を通じた職業観・勤労観の育成</p> <p>第19回 特別活動の国際化</p> <p>第20回 まとめ—特別活動の可能性と展望—</p>
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・リフレクションペーパー:20%(1%×20回)(主に関心・意欲をチェックします) ・中間レポート:30%(主に思考・判断・表現をチェックします) ・まとめのレポート:30%(主に思考・判断・表現をチェックします) ・確認小テスト(20%):各学期に1回ずつ「持ち込み可」で行います(主に知識・技能をチェックします) ・欠席1回につき2%を減点します ・3分の2以上の出席が、単位認定のための前提条件になります。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	<p>【授業外における学習方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の内容を理解していない方は、受講前に小/中/高等学校学習指導要領解説の特別活動編を事前に一読してください。 ・これまでの学校生活における特別活動の体験を振り返ってみましょう。 ・参考文献をあげておきますので、積極的に購読しましょう。特に『蛍雪時代』は、漫画でありながら特別活動の本質がわかる良書です。
教材・参考文献・配付資料等	<p>授業では毎回、レジユメを配布します。整理して保存できるように、ファイル等を用意してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 吉田武男・京免徹雄編著『特別活動』(MINERVA はじめて学ぶ教職)、ミネルヴァ書房、2020年。 2. 日本特別活動学会編『三訂 キーワードで拓く新しい特別活動』東洋館出版社、2019年。 3. 『蛍雪時代—ボクの中学生日記—』(第1～5巻)、講談社、1999年。 4. 白松賢『学級経営の教科書』東洋館出版社、2017年。 5. 柳治男『<学級>の歴史学』講談社、2005年。 6. 志村廣明『学級経営の歴史』三省堂、1994年。 7. 経済協力開発機構『社会情報的スキル』(無藤隆・秋田喜代美監訳)、明石書店、2018年。 8. 文部科学省『小学校・中学校・高等学校学習指導要領解説 特別活動編』平成29年/平成30年。
オフィスアワー等(連絡先含む)	研究室を訪問する場合、メールで事前に連絡をとってください。
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	小・中・高等学校における思い出を1つずつあげてみてください。多くの方が特別活動(あるいは部活動)を思い浮かべたのではないのでしょうか。このように、特別活動が子どものキャリア形成に与えるインパクトは小さくないはずなのですが、その教育的意義や効果はあまり認識されていません。深く考えず、さっと通り過ぎてしまっていた活動の価値を、授業を通して発見してみませんか?
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA)	
キーワード	話し合い、合意形成、意思決定、生活づくり、自治的活動、キャリア形成